

 「物価が上がった」だけでは足りない

● 初級レベル

値段が上がれば、日本は元気になったと言えるの？

ここまで、工場ができて、仕事が増えて、会社にお金が流れる話を見てきました。
すると次に出てくるのが、

「物の値段が上がる」

という話です。

これを難しい言葉では、

インフレ

と呼びます。

でも、

物価が上がった = 日本復活

なのでしょうか。

そんなに簡単ではありません。

 パンが 100 円から 120 円になった

たとえば、100 円だったパンが 120 円になったとします。

買う人から見れば、

「20 円も高くなった！」

です。

これだけなら、うれしい話ではありません。

では、パン屋さんは 20 円分まるまるもうかったのでしょうか。

そうとも限りません。

小麦粉が高くなった。

バターも高くなった。

電気代も上がった。

働く人の給料も上げたい。

だから 120 円にしなければ、お店を続けられないのかもしれないかもしれません。

 大切なのは「適正な価格」

ここで登場するのが、

適正価格

です。

難しく考えなくて大丈夫です。

作る人も困らず、買う人にも納得してもらえる値段

くらいに考えてみましょう。

安すぎると、お店や会社が続けられません。
高すぎると、今度はお客さんが買えません。
だから、
ちゃんと作り続けられて、ちゃんと買ってもらえる値段
が必要になります。

ラーメン屋さんで考えてみよう

ラーメン 1 杯 800 円のお店がありました。
ところが、
小麦粉。
お肉。
電気。
ガス。
全部高くなりました。
それでも 800 円のまま売り続けたら、どうでしょう。
お客さんはうれしいかもしれません。
でも、お店には十分なお金が残りません。
すると、
店員さんの給料を上げられない。
古くなった冷蔵庫を買い替えられない。
お店を直すこともできない。
最後には、お店そのものがなくなってしまうかもしれません。
だから、
必要な値上げまで全部「悪いこと」と考えると、お店を続けられなくなる
ことがあります。

工場でも同じ

工場も同じです。
材料が高くなった。
電気代が上がった。
働く人の給料も上げたい。
でも商品の値段はずっと同じ。
これでは会社にお金が残りません。
だから、
適正な値段で売る
↓

会社にお金が残る

ことが必要になります。

会社にお金が残ると、何ができる？

きちんと利益が残れば、
社員の給料を上げられます。
新しい機械を買えます。
新しい人を雇えます。
研究もできます。
工場を広げることもできます。
つまり、

適正価格

↓

会社に残る利益

↓

給料・設備投資へ

と、お金が次へ動きます。

でも、給料が上がらなかったら？

ここで大事な「？」です。
パンが 100 円から 120 円になった。
ラーメンも値上がりした。
電気代も上がった。
なのに、
お父さんやお母さんの給料は同じ。
これではどうでしょう。
買えるものが減ってしまいます。
これは、
値段だけが上がった状態
です。
私たちが探しているのは、これではありません。

値段と一緒に、給料も育つ

今度は、
商品を適正な価格で売れた。

↓

会社に利益が残った。

↓

社員の給料が上がった。

↓

家計で使えるお金が増えた。

という流れになったとします。

すると、値段は少し高くなっても、

買う人のお金も増えている

ことになります。

ここが大きな違いです。

さらに、会社が次の投資をする

会社に利益が残れば、給料だけではなく、

新しい機械。

ロボット。

工場。

研究。

にもお金を使えます。

すると、もっと効率よく商品を作れるようになるかもしれません。

そして新しい仕事も生まれます。

つまり、

適正価格で売れる

↓

利益が残る

↓

給料が上がる

↓

買い物が増える

↓

会社の商品が売れる

↓

また設備投資する

という輪ができます。

経済の「ぐるぐる」が回り始める

遊園地のメリーゴーラウンドを想像してみましょう。

一度だけ動いて止まるのではなく、
ぐるぐる回り続けます。
経済も同じです。
お金が、
会社。
働く人。
お店。
そしてまた会社へ。
ぐるぐる回る。
これが大切です。
だから NIGHT FLIGHT では、
物価が何%上がったかだけを見ません。
そのあとに、
給料は？
利益は？
設備投資は？
買い物は？
と続けて見ます。

💡 値上げが全部うれしいわけではない

もちろん、
「値段が上がれば上がるほど良い」
という意味ではありません。
アイスが 100 円からいきなり 500 円になったら困ります（笑）。
値段だけがどんどん上がって、
給料が追いつかない。
会社も設備投資しない。
暮らしだけ苦しくなる。
これでは良い循環とは言えません。
大事なのは、
値段だけが一人で走っていないか
です。

🔴 また「お金の血流」を見てみよう

ここまでの流れを並べてみます。
適正価格で売れる

↓

会社に粗利・利益が残る

↓

給料を上げられる

↓

働く人が買い物できる

↓

お店や会社の売上が増える

↓

また新しい設備を買う

この流れが続けば、

お金の血液が体の中をぐるぐる回ります。

これが私たちが探している、

「値段だけではないインフレ」

です。

🌟 初級レベルのポイント

物価が上がった。

それだけでは、

「日本が元気になった！」

とは言えません。

大切なのは、

会社が適正な価格で売れた？

ちゃんと利益が残った？

給料は上がった？

みんなが買い物できた？

会社は次の投資をした？

です。

だから、

****値段だけが上がるのではなく、**

給料と投資も一緒に動くこと。 **

ここを見ていきます。

🦋 そして次の「？」へ

ここで、また新しい疑問が出てきました。

「給料が 3%上がった。でも物価が 5%上がったら、本当に豊かになったの？」

.....でした（笑）。

ここから次は、

「給料が増えた」と「買えるものが増えた」は同じ？

という話へ進みます。

つまり、

名目賃金と実質賃金

です。

 寄り道研究所

NIGHT FLIGHT SPECIAL II 【国内編】

● 初級レベル解説でした。

もう少し詳しく、適正価格・物価・賃金・利益・設備投資がどうつながるのかを知りたい方は、

● 中級レベルへ。

 次の寄り道へ、ご搭乗ください。